

須坂市教育委員会7月定例会 会議録

1 日 時 2026 年7月 31 日(金)午後2時 00 分 ～ 4時 00 分

2 場 所 須坂市役所 第4委員会室

3 出席した委員 教育長 勝山 幸則
教育長職務代理者 二ノ宮邦彦
教育委員 村石 忍(欠席)
教育委員 湯本 理恵
教育委員 青木 十郎

4 説明のため出席した職員
教育次長 中村 健司
学校教育課長 若林 久人
子ども課子育て政策係長 大峽 武
人権同和教育課長 山岸 潤
文化スポーツ課長 寺沢 隆宏
生涯学習推進課長 中澤 雄一
学校給食センター所長 村石 孝子
指導主事 後藤 昭彦
指導主事 松木 智子
指導主事 宮崎 健(欠席)
指導主事 西原 秀明
指導主事 北村 雅
指導主事 松澤 裕子

5 事務局出席職員
庶務係長 安川 尚義
庶務係 高木 和巳

6 本日の会議に付した事項

1 学校等の状況報告について
多層指導モデルMIMについて

2 議 題
議案第 43 号 須坂市放課後児童クラブ運営管理規則の一部を改正する規則に
ついて
議案第 44 号 須坂市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

3 協 議

- (1) 2026 年度須坂市社会教育委員と須坂市教育委員との懇談テーマについて

4 一般行政報告

- (1) 教育長出席行事の報告について
- (2) 行事共催等承認の報告について
- (3) 6月定例市議会の報告について
- (4) その他

5 その他

- (1) 教育委員会行事予定について
- (2) 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について
- (3) 日常生活実態に関するアンケート(ヤングケアラー調査)について
- (4) 2026 年度 人権教育講座について
- (5) その他

教育長が開会を宣した。

1 学校等の状況報告について

教育長が説明を求め、指導主事が説明した。

- ・6月からの児童生徒数の変動はない。
- ・学校事故報告は前回からの継続分を含め計 19 件で、うち交通事故が3件あった。
- ・夏休み前に、交通事故防止及び河川等による水難事故防止について、学校を通じ全家庭へ注意喚起を行った。
- ・15 番はドッジボールで顔面にボールが当たった事案、19 番は救急搬送であった。
- ・保育園の事故は6件あった。
- ・夏休み中の事故報告は、現在のところない。
- ・児童生徒の欠席状況は前年比とあわせグラフで示した。

来入児の発達検査結果について、指導主事が説明した。

- ・知的発達段階でLOW の割合は全体で 34.2%だが、来入児で 50%を超える学校もある。発達段階や言葉の理解、新しい環境、検査当日の不安・緊張が影響していると思われる。
- ・要フォローの割合は全体で 9.4%だが、20%を超える学校もある。就学における学びの場の検討や配慮支援の移行支援を丁寧に行う必要がある。

- ・経年で見ると、コロナ禍明けからLOWの段階の人数が増加している。早期発見・早期支援の意識化が進んだことも影響していると思われる。
- ・園では自発的な遊びを大切にしながら非認知能力向上の活動を行っており、今後も生活体験や人・友達との関わりの充実、個に寄り添った相談・支援が大切である。
- ・子ども課のすこやか相談事業では、スタッフがチームを組み、就学に向けた移行支援・入学後の支援を行っている。医療・福祉との連携や切れ目ない支援が必要である。

教育相談の状況について、指導主事が説明した。

- ・第一次教育相談の申込みは全体で70名、前年度比マイナス23である。内訳は来入児がマイナス7、高学年・中学進学に向けた数が減少した。
- ・来入児では支援学校判断での申込みが半数の7名で、医療的ケアの必要な子や重複障害の子の就学検討ケースが増えている。
- ・6年生は41名で、特別支援学級在籍33名中26名が継続希望、4名が支援学校への変更希望等となっている。
- ・中学進学に当たり支援学校を選択するケースが増えており、変更理由を分析しながら受入れ体制や交流学习等について検討する必要がある。

考察について、指導主事が説明した。

- ・障害に対する考え方が医療モデルから社会モデルへ移行していることを踏まえ、インクルーシブマインドの涵養を全ての学級・学校で進めることが急務である。
- ・すこやか相談事業により園と学校の情報共有が進み、成長を見ながら学びの場を検討する方向に進んでおり、来入児申込み減少の一因と考えられる。
- ・言葉の教室担当者が吃音等の周知や早期対応で活動の幅を広げ、子ども課の言葉の相談室と連携している。
- ・多様な環境因子や障害状況があり判断に悩むケースが多く、保護者との合意形成と教職員の教育力向上が必要である。
- ・墨坂中学校のLD等通級指導教室は、不登校児童生徒の自己回復や生活改善の場にもなっている。
- ・発達特性に起因する不登校の判断や未然の支援について、学校教育課・子ども課等が連携して協議していく必要がある。
- ・日本語教室の開設により新たな課題が浮き彫りになっており、関係各課の連携が必要である。外国につながる児童の相談も寄せられている。
- ・先日、北信地方で10年ぶりに進学ガイダンスを開催し、8家族約30名が参加した。

以上の報告に対し、質疑応答が行われた。

教育長：

- ・不登校について、グラフに見えない最近の状況で気づいた点はあるか。

指導主事：

- ・不登校・不適応の子への対応は学校だけでは難しく、スクリーニングやケース会議により、指導主事、子ども課の家庭児童相談員、スクールソーシャルワーカー等が学校へ出向いて早期に支援している。
- ・食料支援やヤングケアラー、虐待疑い等に対し、関係機関と連携して迅速に対応している。
- ・小学校にも校内中間教室を設置し常駐する教員を配置したことで、登校につながった児童が出てきている。
- ・教育支援センター等では「自分で決める」ことを大切にした支援を行っている。

委員：

- ・小学校に上がってからでは対応が遅い面がある。朝食を食べてこない子も多く、就学前の段階での発見や支援を考える必要がある。福祉課等の関わりも必要ではないか。
- ・すこやか相談事業の園巡回は私立園にも行っているのか。

指導主事：

- ・市内 18 園すべてを巡回している。

委員：

- ・承知した。

委員：

- ・第二次の表で比率が増えている一方、市全体の経年ではコロナ禍の影響という仮説も示されている。幼児期に未然に対応できることがあるかもしれない、幼児期の情報を今後も学びたい。

委員：

- ・委員の意見に賛同する。経験不足からくる点数の低下が推測され、園や家庭での遊び・体験の機会が有効ではないか。

このほか、生活体験の不足や、大学・県との連携によるデータの研究活用の可能性等について意見交換が行われた。

多層指導モデルMIMIについて、指導主事が説明した。

- ・通常学級における読みのつまずきのある子への予防的支援モデルであり、アセスメントと指導の二本立てで行うこと、市内各校で取り組んでいること等について説明があった。
- ・アセスメント(絵に合う言葉探し、三つの言葉探し)を出席者が実際に体験した。
- ・デジタル版MIMについて、須坂小学校をモデル研究校として実施していること、費用等について説明があった。

質疑応答が行われた。

委員：

- ・以前の勤務校で外国籍児童に実施した際、MIMの結果と家庭・生活環境の変化に関連が見られた。デジタル版は集計が容易になるのか、費用はどの程度か。

これに対し、指導主事から説明があった。

2 議 題

議案第 43 号 須坂市放課後児童クラブ運営管理規則の一部を改正する規則について

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。
特に意見質問なく承認された。

議案第 44 号 須坂市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
教育長が説明を求め、学校給食センター所長が説明した。
特に意見質問なく承認された。

3 協 議

(1) 2026 年度須坂市社会教育委員と須坂市教育委員との懇談テーマについて
教育長が説明を求め、教育次長が説明した。
協議の結果、10 月の定例教育委員会後に社会教育委員との懇談会を開催し、高校生の居場所及び須坂ユースセンターについて視察・研修を行うこととした。

4 一般行政報告

(1) 教育長出席行事の報告について
教育長が説明した。

(2) 行事共催等承認の報告について

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

14 件申請があり、うち共催は2件であった。

(3) 6月定例市議会の報告について

教育長が説明を求め、教育次長が説明した。

(4) その他

文化スポーツ課長より、重伝建地区における改修工事の体験会について説明があった。

5 その他

(1) 教育委員会行事予定について

教育長が説明を求め、各課長が説明した。

なお、教育次長より、8月 19 日に臨時教育委員会、総合教育会議及び定例教育委員会を開催する旨説明があった。

(2) 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

(3) 日常の生活実態に関するアンケート(ヤングケアラー調査)について

教育長が説明を求め、子ども課子育て政策係長が説明した。

(4) 2026 年度 人権教育講座について

教育長が説明を求め、人権同和教育課長が説明した。

(5) その他

指導主事より、外国につながるのある子供の夏休みスペースについて説明があった。
また、学校教育課長より、学園構想に係るパブリックコメントの状況について説明があった。

教育長が閉会を宣した。